

令和7年度第3回八千代市障害者自立支援協議会
会議録

開催日時 令和8年3月24日（火） 13時30分から14時30分まで

開催場所 上下水道局 2階 大会議室

出席委員 出席委員一覧のとおり

事務局 課長 神代 信宏 副主幹 三島 敦子 副主幹 木村 友和
(障害者支援課) 主査 大橋 百合子 主査 木村 絵美 主査補 藤平 陽子
主事 武田 直樹

議 題

- (1) 委員委嘱について
- (2) 会長及び副会長の選任について
- (3) 地域生活支援拠点等コーディネーターの今後について
- (4) 各分科会の今年度の活動等について
- (5) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの今後について
- (6) その他

公開・非公開 公開

傍 聴 人 0名（定員5名）

審 議 内 容

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから、令和7年度第3回八千代市障害者自立支援協議会を開会します。</p> <p>本日は、お忙しい中お集りいただき、ありがとうございます。本会は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」の規定に基づき、会議を公開するとともに、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、予めご了承ください。また、本会議は会議録の自動作成を行っておりますので、発言する際はお手元のマイク付近にあるボタンを押してから発言するようにしてください。</p> <p>本日は、傍聴の届出はありませんでしたので、お知らせいたします。</p>
事務局	<p>議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【配付資料の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○席次表・次第・委員名簿・本協議会設置要綱 ○議題(3)「地域生活支援拠点コーディネーターの今後について」に係る資料 ○令和7年度八千代市障害者理解啓発事業講演会の案内チラシ ○成年後見制度のご案内（社会福祉協議会） ○「やちけあ」のに係る資料 <p>以上です。不足している場合はお申し出ください。</p> <p>なお、成年後見制度のご案内につきましては、本日、社会福祉協議会の仲村委員が欠席のため、資料の配付のみとさせていただきます。次回の自立協全体会の場で、皆様にご説明させていただきたいとの申し出がございましたので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、お手元に配布しております「令和7年度八千代市障害者理解啓発事業講演会」の資料についてですが、毎年八千代市障害者支援課では理解啓発事業を行っており、講演会を年1回実施しております。今年度は「障害者が働くということ」をテーマに講演をしていただき、皆様が好きなときに講演動画を視聴できるように公開しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それではさっそく議事に入らせていただきます。ここからの議事進行は会長に行ってくださいことになっておりますが、木崎前会長、小竹前副会長ともに、令和7年12月19日で委員の任期が満了しており、小竹前副会長につきましては、令和7年12月20日から再度委嘱をさせていただいておりますが、現段階ではまだ会長、副会長が不在という形になっております。つきましては、</p>

事務局

議題(2)にて会長の選任がされるまでの間、事務局にて議事進行を務めさせていただきます。

議事は、次第に沿って進行させていただきます。本日の議題は、

- (1)委員委嘱について
- (2)会長及び副会長の選任について
- (3)地域生活支援拠点コーディネーターの今後について
- (4)各分科会の今年度の活動等について
- (5)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの今後について
- (6)その他 です。

それではさっそく議題に入りまして、議題(1)委員委嘱について説明をさせていただきます。

まずはお手元に配布の委員名簿をご覧ください。八千代市障害者自立支援協議会におきましては、令和7年12月19日で委員任期が満了したことに伴い、こちらの委員名簿の方々を令和7年12月20日から新たに委員として委嘱させていただきます。

その中でこの度、新たに委員になられたのは2名で、社会福祉法人愛の園福祉会の千葉委員と、船橋人権擁護委員協議会の楠委員です。

その他の皆様におかれましては、前回に引き続き委員として委嘱をさせていただきます。委員を引き受けてくださった皆様におかれましては、今後とも八千代市障害者自立支援協議会の活動にお力添えいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは続いて、議題(2)会長及び副会長の選任について、に移らせていただきます。会長、副会長の選任につきましては、本協議会設置要綱第5条の規定により、委員の皆様の互選により定めることとなっておりますので、委員の皆様はご意見等ありましたらご発言をお願いします。

もしないようであれば、事務局よりご提案させていただこうと思いますがいかがでしょうか。

それでは、事務局より会長として西澤委員、副会長として前回に引き続き小竹委員を選任することを提案させていただきます。

委員の皆様、この提案について何かご意見等ありますでしょうか。

異議がないようでしたら、

会長は西澤委員、副会長は小竹委員に決定とさせていただきます。

西澤委員、小竹委員は、会長席、副会長席へ移動をお願いします。

それでは、会長・副会長より一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。

<p>会長</p>	<p>皆様こんにちは。先ほどの名簿の7番目に私の名前が記載されています。社会福祉法人新生会、障害者支援施設作山更生園の西澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私自身、このような大役をお引き受けさせていただいて、自分でも大丈夫なのかと心配をしているところではありますが、名簿を拝見させていただきますと、各分野での知見のある方々がいらっしゃいます。何より協議会では、皆様のご意見を頂戴して、少しでも八千代市の地域福祉の発展のために、微力ではございますが、ご協力させていただき寄与できるよう務めさせていただければと思います。ぜひ、皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたしますと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>八千代身体障害者福祉会の小竹と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>引き続きというところで、会長の陰に隠れながら微力ではございますけども、引き立てていきたいと思っております。</p> <p>何年かやっている中で、やはり時代の流れもあると思います。変える必要があると思うところは変えていくべきだと思っておりますので、皆様のお知恵と力を借りながら、この自立支援協議会が活性化していくように、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。それではここからの議事進行につきましては西澤会長にお願いしたいと思います。では、西澤会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>それではさっそく議題に入りまして、議題(3)「地域生活支援拠点コーディネーターの今後について」、まずは事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は地域生活支援拠点等事業について、事業実績等の報告をさせていただきたく、市より拠点等コーディネーター業務を委託しているケアサポート笑和輪から市川様にお越しいただいております。</p> <p>それでは早速ですが、市川様よりご報告よろしくお願いいたします。</p>
<p>ケアサポート笑和輪 市川様</p>	<p>皆さんこんにちは。ただいまお配りしています拠点のチラシと、地域生活支援拠点等コーディネーター業務年間集計表をご確認ください。私は社会福祉法人心聖会相談支援事業所ケアサポート笑和輪の市川と申します。本日は担当コーディネーターに代わりまして、ご報告させていただきます。まず初めに、地域生活支援拠点について簡単にご説明いたします。地域で生活する障害者の方々の重度化、高齢化、そして親亡き後の生活を見据え、緊急時の対応や、施設、病院などからの地域移行の推進を担う機能を持つ場所や体制のことを、地</p>

域生活支援拠点といます。令和4年10月より、八千代市の委託を受けまして、社会福祉法人心聖会ケアサポート笑和輪が、地域生活支援拠点等コーディネーター業務を実施してまいりました。従来であれば、今年度の活動報告は、令和8年度第1回全体会でご報告させていただくところではありますが、4月より、本事業の委託先が「基幹相談支援センターそらへ変更となることを踏まえ、本日この場をお借りして、令和7年度の活動報告をさせていただきます。それではお配りした、令和7年度地域生活支援拠点コーディネーター業務、年間集計に沿ってご報告させていただきます。まず1の緊急時支援前業務入口支援についてです。事前登録の啓発として、今年度は、生活介護、グループホーム、老人介護施設、軽費老人ホームなどへ訪問し、事業の説明を行いました。地域生活支援拠点等事業の理解が十分に進んでいないと感じる場面も多く、定期的な訪問や説明会を通じた、継続的な啓発が必要であると考えています。事前登録の受け付けですが、現在8名の方が登録されています。次のページにあります、支援体制の構築に、記載があります登録者のうち、動きがありました2名の状況を共有いたします。1名の方は、現在入院中で退院に向けた会議を定期的実施しております。複数の課題が混在しており、関係機関で検討を進めている段階です。もう1名は市外の相談員が担当されており、八千代市内のグループホームの空き状況について問い合わせがありました。相談員と情報共有を行い、体験利用に繋がっています。

これらに限らず、環境の変化から、やむを得ず環境を変える必要が生じるケースが増えていると感じています。また、登録者全般に言えることですが、依然として見学や体験に繋がりにくい状況があります。そのため、もしもに備えて平時から複数の繋がり先を持つことが不安軽減に繋がることを、ご本人やご家族にお伝えしております。

最後のページにあります、2の緊急時支援業務についてです。

今年度は未登録の方から、他市の拠点から八千代市の拠点に相談するよう言われたという連絡が複数回あり、その都度、受け入れ先の調整を行った事例がありました。状況が落ち着いた後、ご家族と面談の機会を設け、平時から見学体験を重ねることや、契約につなげることで、もしものときに安心して預けられる場所が増えることをお伝えしました。今回対応した方は、相談員がついている方でしたので、相談員からの助言もあり、普段利用できるショートステイの場所を増やすことができた事例です。

ただし、拠点の登録までには至りませんでした。繰り返しになりますが、八千代市の面的整備を進めるためには、登録事業者を増やすための周知啓発が引き続き重要であると考えております。最後に補足説明及び今回共同で実施いたしましたアンケートにつきまして、行政のご担当者様よりご報告をお願いいた

事務局	<p>します。</p> <p>障害者支援課の藤平です。今年度の市と拠点コーディネーターが共同で実施した取り組みにつきまして、ご報告をさせていただきます。</p> <p>今年度、市と拠点コーディネーターが共同して実施した取り組みとしましては、市内のグループホーム32の法人に対し、家賃額や、支援体制等の事業所情報の集約、緊急時の空き情報を共有するためのメーリングリストの作成、そして地域生活支援拠点の登録移行のアンケートを実施いたしました。</p> <p>そのうち、21の法人から43ヶ所のグループホームについて回答をいただきまして、そのうち、メーリングリストに登録をしていただけるグループホームは39ヶ所、拠点の登録について話を聞いてみたい、前向きに検討したいとのご回答をいただいた事業所は15ヶ所ありました。4月より拠点コーディネーター業務が基幹相談支援センターそらさんに変更となることから、今回の結果につきましては、そらさんに引き継ぎをさせていただき、今回、事業所登録に興味がある、前向きに検討したいとご回答いただきました事業所に拠点事業の登録についてお願いに伺っていただくことを考えています。また、現在登録されている利用者様には、順次引き継ぎのケース訪問等を行っているところです。今後の活動につきましては、今までは、事業の活動方針について委託先のケアサポート笑和輪さんと両者で検討してまいりましたが、4月以降につきましては、本事業を推進していくための協議の場を設けていくこととなりました。今後、自立支援協議会委員の皆様にも、この協議の場へのご参加についてお声をかけさせていただくこともあろうかと思っております。引き続き、本事業の推進に、皆様のお力添えをいただきますよう、よろしく願いいたします。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の報告に対して何か意見や質問等のある委員はありますか。</p> <p>ないようでしたら、議題4、各分科会の今年度の活動等について、各分科会長より説明をお願いいたします。</p>
議長	<p>最初にくらし分科会です。くらし分科会につきましては、私から説明をいたします。</p> <p>前回、11月の代表者会議以降に行っています活動について報告いたします。</p> <p>分科会の開催につきましては、本年度第4回目の分科会を12月7日に、また、第5回目の分科会を2月25日に開催しております。くらし分科会では、障害のある方が安心して医療機関を受診し、治療を受けられるように、障害の理解啓発のためのリーフレットを、令和7年3月に作成し、市内の医療機関に掲示してい</p>

	<p>ただきましたので、医療機関にフィードバックを行うためのアンケートを12月下旬から2月初旬にかけて実施しております。結果といたしましては、市内の約100の医療機関に対し、実施、実施いたしておりますが、回答は1割程度の10件でございました。回答の内容といたしましては、趣旨をご理解いただけたものと感じ取れるものでございましたが、回答件数が全体の1割にとどまった点につきましては、次年度以降の課題として、継続して発信し続けるといった、くらし分科会としての方針を確認しております。またあわせて、医療機関において、こういう対応をしてもらってありがたかったというような、好事例集についても、イラスト入りの2ページ程度のものですが、前回の分科会にて最終確認を行えたので、近々に市内医療機関へ啓発資料として、データ配信を行うのと、市のホームページの障害福祉関連の項目に公開する予定といたしております。次回の分科会の開催につきましては、4月22日を予定いたしております。以上となります。</p>
議長	<p>次に、つなげる分科会桧垣分科会長よりお願いします。</p>
事務局	<p>本日つなげる分科会桧垣委員が欠席となっておりますので、事務局より代わりに活動報告させていただきます。</p> <p>つなげる分科会につきましては、今年度第3回目の会議を3月16日に開催しております。</p> <p>先日の第3回の会議では、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて協議を行いました。この精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについては、県より委託を受けている八千代生活支援センターの方々に、年1回つなげる分科会の協議の場にて事業の実績報告をしていただいております。そして、あわせて令和8年度以降の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について、事業の進め方や方向性について協議を行っております。今後、本市において本事業をより推進していくためには、継続的に本事業について検討を行うための体系的な協議の場の設置や、仕組みづくり等が必要であると考えられることから、この精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについては本日の議題として、この後議題5にも挙げさせていただいておりますので、委員の皆様におきましてはご意見を後程伺いさせていただければと思います。相談支援事業所ガイドブックの更新を今年度もこの載っております。こちらにつきましては、令和8年1月に発行して、市のホームページへの掲載及び障害者支援課窓口への配架等を行っております。報告は以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p>

小原委員	<p>次に、しごと分科会小原分科会長よりお願いします。</p> <p>しごと分科会の小原です。前回の全体会の後の動きとしましては、ここ数年行っている、就労系事業所の見学会及び意見交換会ということで、例年、年明けの1月頃の実施に向けて準備を進めておりました。</p> <p>見学先も決まり、準備やアンケート等も進んでいた状況でしたが、今回、急遽選挙が行われたため、延期ということで、次年度、夏頃に予定をスライドさせることで進めております。また、差別解消に対する取り組みについても、実はその意見交換会、見学会の場でのアンケートに盛り込んで、どのような差別に対する認識を持っているかというところから、調査をしていたところではありますので、その点についても、次年度に確認して話を進めていこうということで進めております。今年度、就労系事業所のガイドブックの更新についても、事務局に協力いただきながら、新しい新規の事業所も加わっておりますので、更新を行っているという状況です。簡単ですが以上となります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。最後に、こども分科会吉野分科会長お願いします。</p>
吉野委員	<p>こども分科会吉野と申します。</p> <p>今年度は、八千代市に児童発達支援センターが1ヶ所増え、愛の園（民間児発）から1名新メンバーが入りました。今年度の活動は、療育支援マップの作成や市の計画にご意見をお伝えしたということが主体でございましたので、2月12日の最後の分科会では、次年度の年間計画として、会議の日程、日時、活動内容等を決めました。分科会は、毎年、内容は変更せず、無理をせずやりたいことをやるということをコンセプトとして、必要な事を決定し、事務局の方にもお手伝いいただき、療育支援マップを作成いたしますが、その活動の範囲の中で、不登校の問題であったり、放課後デイサービス事業の在り様であったり、児童発達の在り様であったり、自由討議の時間が比較的長くなっております。教育と医療と福祉等が、それぞれの分野から委員が出ているということが特色であろうと思います。児童すべてを包括しないと成り立たない事業ですので、その中で拠点であるとか、医ケアの事業であるとか、八千代市でだいぶ取り組みができてきていますが、まだまだ児童の部門は、十分ではないのかなと思っております。次年度の計画の中で、大きな連携の1つの具体例として、八千代の放課後連が委託を受けまして、放課後休日活動の見学をしたいと、特別支援学級の先生方が80名ほどいらして、見学会を5月に実施予定です。また、今年度の活動ですが、10月のどーんと祭りは出展しませんでした。合同作品展はパンフレットを置くのみとしました。8月下旬に療育支援マップを作成し、10月</p>

<p>議長</p>	<p>に配布しました。配布先は少し増えてきているため、増減はありますが、療育支援マップが有効に適切な場所に適切に市民の方にお届けできるように、次年度もまた検討していきたいと思います。現時点では、以上です。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>各分科会の活動について何か質問やご意見等ある方はいらっしゃいますか。</p> <p>ないようでしたら、次に議題5、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの今後について。事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、略して「にも包括」及びつなげる分科会を担当しております木村と申します。</p> <p>本日お時間いただきますが、よろしく願いいたします。</p> <p>口頭でのご説明になりますので、お聞きいただければと思います。にも包括につきましては、都道府県単位に保健所単位の習志野圏域及び市単位で協議の場が必要とされている中で、にも包括につきましては、習志野圏域のコーディネーターである八千代地域生活支援センターさんとともに、理解啓発や地域住民の交流の場の設定等に取り組んでまいりました。そして、自立支援協議会のつなげる分科会さんにおいては、年に1度、取り組みの報告と助言を受ける場を設定していただいております。しかし、八千代市として継続的ににも包括を協議する場が十分でなかったことは課題であると感じており、また、具体的な取り組み事項を整理しきれなかった部分があると考えております。この点を踏まえまして、次年度以降は、八千代市の課題を整理し、具体的に取り組みができるよう、自立支援協議会さんでも取り組みを検討させていただきたいと担当として考えるようになりました。令和7年12月につなげる分科会の委員さんにおきましては、次年度以降、にも包括について、つなげる分科会で協議させていただきたいとの意向について、承認いただけるか否かを、書面開催という形で諮らせていただいております。5人の委員の皆様からは、4名ご承認いただいております。また、1名の方につきましては、条件付の承認ということでご回答をいただいております。承認をいただいたご意見の中では、取り組むテーマは単年度ではなく、ある程度の期間を設定して、大目標小目標を設定し、最終的に目に見える成果に持っていければ、委員としてやりがいがある。もし何かツールを作成するのであれば、活用がされるよう、他機関にも働きかけを行う必要がある。との内容でした。条件付で承認をいただいた委員につきましては、にも包括が関係してくる分科会がつなげる分科会だけと考えることに無理があると考えます。すべての分科会において協議するものだと考えるため、つなげる分科会だけでは荷が重い。にも包括を独立させるもしくは、委員の増員な</p>

事務局	<p>どの対応なども検討いただけるのであれば承認するのご意見をいただいたところではあります。先ほどもありましたように、3月16日のつなげる分科会において、事務局より、にも包括に関する取り組みについて、先行自治体の事例や、これまでの活動を踏まえて、地域移行をテーマとして取り上げる提案をいたしました。その場で分科会の委員の皆様や、圏域コーディネーターの八千代地域生活支援センターの木崎さんなどと協議をした結果、地域移行に限定せず、このにも包括の大きなテーマであります、精神障害の有無にかかわらず、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる体制づくりについて、令和8年度1年間をかけて検討する方針といたしました。そして、令和9年度からの実動を目指していきたいと考えております。この検討にあたっては、当事者、ご家族、地域、医療などの関係機関に広くお声掛けをし、各グループで安心して暮らせる地域づくりに必要なことについて、意見交換を行う予定です。また、市としましても、把握しているデータを提示しながら、話し合いを具体化させられるよう努めてまいります。その後、各グループの意見を集約し、優先的に取り組む事項を整理した上で、つなげる分科会にお諮りする流れを想定しております。なお、この意見交換につきましては、様々な関係機関の方にお声掛けをいたしますので、こちらに今ご出席いただいております。他の分科会の委員の皆様にもお声をおかけさせていただきたいと考えておりますので、どうぞご協力よろしくお願いたします。この進め方につきまして、本日の全体会で、ご意見、ご了解等いただけましたらと考えております。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の事務局からの説明に対して、何か意見や質問等ありますか。</p> <p>吉野委員お願いたします。</p>
吉野委員	<p>お伺いします。</p> <p>精神障害のある方に情報等の紹介をしていただけるのでしょうか、また、相談支援事業所を相手とする事業でしょうか、精神に特化していないといけないのでしょうか。あわせて、児童もその範疇に入るのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局から回答させていただきたいと思います。</p> <p>地域包括ケアシステムにつきましては、高齢者と障害と子育てと様々な種類の包括ケアシステムがあると思います。メンタルヘルスに課題のある方であれば、精神障害に限らないというところの理念ではあります。また包括ケアシ</p>

	<p>テムの考え方になりますので、相談支援事業所や医療機関，様々な地域の関係機関の方が連携をとって、地域づくりをしようというかなり大きなテーマになっておりますので、まずは、関わっていただいている方たちから、課題と感じているところを出していただければというところになります。最終的に連携が取れた結果、何かしら情報をご紹介できるようなものができたらと思っておりますが、今、何かをご紹介するなどを決定できているものではございません。</p>
吉野委員	<p>児童精神も対象に入るのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的な紹介業務を行う事業ではございません。</p>
吉野委員	<p>ありがとうございました。</p>
議長	<p>ご意見ありがとうございました。 他に何か意見等ある方、いらっしゃいますか。 なければ次に、議題6、その他についてですが、ここでは、八千代市障害者自立支援協議会が、やちケアの構成団体として、加入することについて、くらし分科会中村委員からの提案となります。それでは中村委員よろしく願いいたします。</p>
中村委員	<p>八千代市医師会の中村と申します。よろしく申し上げます。お手元に、NPO法人やちケアの資料を出させていただきました、簡単に経緯をご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>NPO法人やちケアは、理念として八千代市民が病気や障害を持っても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることに貢献することを目的として、2020年10月に設立しました。皆さんご存じの地域包括ケアシステムを、医療介護福祉職で一致団結して、支えていこうという理念になっています。当初は医療と介護を中心に始まっています。2015年の10月に有志で、在宅医療のことについて話す八千代市民フォーラムを3回ほど有志でやってきました。医師会長が変わって、2019年11月に、NPO法人としての設立準備を始めて、2020年の10月に正式に設立となっております。構成団体が、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護師会、リハビリテーション協議会、介護サービス事業者協議会、八千代ケアマネネットワークの、最初7団体プラス八千代市と八千代市在宅医療介護連携支援センターでスタートして、今年度から社会福祉協議会さんが加わっていただいています。そこにぜひ自立支援協議会さんにも加わっていただきたいと思い、今日お話をさせていただいております。</p>

<p>中村委員</p>	<p>現在の組織図としましては、理事長は、八千代市医師会長である桜川先生です。その下に分科会のような事業が現在4つあり、研修と顔の見える関係構築を目的とした交流会。医療介護情報一元化のハンドブックの作成で市民啓発事業として、健康フェスは今年3回目を迎えています。来年度からは、臨床倫理という分野で、もともと八千代医療センターの看護局と、八千代市訪問看護師会でやっておりました臨床倫理の勉強会は、やちケアの下部組織として入ることになっており、5つの事業で進めていく予定となっています。昨年度の年間スケジュールは、お示したような形で行ってきております。このコアメンバー会議は、構成団体の各会長さんにご参加いただいておりますので、こちらに会長さんにご参加いただければと思っております。ここでは各団体の行っている事業の共有や、勉強会の共有を現在行っております。今後は、地域課題に向けての話し合いをしていけたらと思っております。裏面に移りまして、在宅医療に必要な機能にこの退院支援・日常の療養・支援急変時の対応・看取りという4つが掲げられており、第8次医療計画では今後、在宅医療に必要な連携を担う拠点を整えて行きましようといったものがあります。皆さんご存じかと思いますが、千葉県ではその拠点が市町村になっています。その中で、ここに書いてあるようなことをやっていくのですが、在宅医療は今まで高齢者が中心だったと思いますが、障害のこともしっかりやっていくということが国の計画にありまして、それに足並みを揃える意味もあり、是非とも一緒に考えていけたらと思ひ、やちケアの構成団体としての加入のお願いになります。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。 今の内容について質問等ある方、いらっしゃいますか。 よろしいでしょうか。 それでは、八千代市障害者自立支援協議会が、やちケアの構成団体として、加入することについて、改めてご意見等ある方、いらっしゃいますか。 よろしいでしょうか。 それでは、異議がないようですので、八千代市障害者自立支援協議会のやちケアへの構成団体加入を決定とさせていただきます。 ありがとうございます。</p>
<p>議長</p>	<p>他に、委員の皆様、事務局から、議題6、その他のところで何かありますでしょうか。 ありがとうございました。 他に皆様より何かありますか。吉野委員どうぞ</p>

吉野委員	<p>地域生活支援の拠点事業について質問です。</p> <p>受給者証に拠点対象と書いてある方と書いてない方がありますが、その対象者は、スコアが何点以上などの規定はあるのでしょうか。児童が拠点に登録されていて、受給者証にないと拠点の相談が受けられないのかという2点についてお聞きしたいです。</p>
議長	<p>ただいまの吉野委員からのご質問について、事務局からご回答をお願いいたします。</p>
事務局	<p>地域生活支援拠点ですが、受給者証にある拠点は、おそらく別の加算でしょうか。事業とはまた別のことではないかと思えます。受給者証の有無にかかわらず、地域で生活している方を対象としています。お子様についても、実情として1名の方が登録されていらっしゃると思いますので、対象と考えております。</p>
吉野委員	<p>身体も知的も、難病もすべて対象ですか。</p>
事務局	<p>対象としています。自立支援医療を受けている方も対象としておりますので、手帳の有無で限定しておりません。</p> <p>サービスの受給をされている障害の種別や手帳の有無にかかわらず、サービスの支給を受けている方を対象と考えます。</p>
吉野委員	<p>国の方針では、拠点の対象は、障害福祉サービスの身体、療育、知的、精神の手帳の有無が関係してきます。</p> <p>八千代市は、どういう対象なのか相談をしている中で見えてこないもので、相談員として、拠点に相談がとてかけづらい。八千代市は、現時点で何らかの障害福祉サービスを受けている方も対象になるのですか。特別支援学級に行っている方とか。</p>
事務局	<p>お配りしてあるチラシにある事前登録のできる方のご案内だけでは、心配ということでしょうか。</p>
吉野委員	<p>先ほどのお話では、八千代市では何らかの形でサービスを受けていればいいので、手帳を持ってない人の場合、登録しておかないと相談ができないため、登録して登録台帳があっても手元に何もないので心配です。例えば、お子さんは手帳をお持ちで、判定を受けています。お母様が急に病気になってしまい家庭でお子さんの看護ができませんという時に短期入所をなどの受け入れ先を</p>

事務局	<p>考えても数が少ないこともあり、なかなか見つかりません。</p> <p>障害者支援課の大橋です。地域生活支援拠点事業の対象者、事前登録ができる方についてはお配りさせていただきましたチラシに記載の通りです。まず1番目が、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳お持ちの方、2番目が、診断書等による認定で、障害福祉サービス、障害児通所支援をお持ちの方、3番目が指定難病など、障害者総合支援法の対象疾患に罹患している方などを想定しています。今、吉野委員がおっしゃられたその受給者証については、拠点の加算が取れる方の話であって、受給者証に書いてある拠点については、特に拠点の登録者を示すものではないので、別のものということでご理解いただければと思います。今申し上げた支援対象者のうち、65歳以上の高齢者であれば、高齢者の介護保険のサービスもご利用いただける可能性がありますので、地域包括支援センターへ情報提供させていただくこともできますし、介護保険制度、老人福祉法における支援が無いかというところを踏まえて対応できます。18歳未満の方が拠点に登録していた場合でも、すぐに受け入れ先が見つめられるかという、やはりそこもおっしゃるように、数が少ないため、なかなか難しい現状もあると思いますので、18歳未満の児童に関しても、児童相談所ですとか子育て支援課さん、母子保健課さん等に情報提供を行うなどしまして、児童福祉法における支援がないかというところを関係機関と連携をして、緊急時の体制を作っていくような流れになろうと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
吉野委員	<p>わかりました。</p>
議長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>他に委員の皆様から、何か質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>ないようでしたら、これで令和7年度第2回八千代市障害者自立支援協議会を終了します。お疲れ様でした。</p>

((出席委員一覧))

	委員名	所 属	分 野	要綱
1	小野 美果	八千代市身体障害者福祉会	障害者等及びその家族	第1号
2	伊藤 則之	なごみの家	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
3	吉野 眞里子	特定非営利法人 にじと風福祉会	指定相談支援事業者を代表する者	第2号
4	小原 正律	ふるさと学舎八千代	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
5	西澤 昇太郎	障害者支援施設 作山更生園	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
6	奥山 琢	社会福祉法人 八千代翼友福祉会きざし	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
7	佐藤 翼	社会福祉法人 実のりの会 ビック・ハート	指定障害福祉サービス事業者を代表する者	第3号
8	淵田 真弓	八千代市児童発達支援センター	指定障害児通所支援事業者を代表する者	第4号
9	秋葉 理江	八千代市母子保健課	保健機関を代表する者	第5号
10	桜庭 幸太郎	八千代市教育委員会指導課	教育機関を代表する者	第7号
11	中村 明澄	向日葵クリニック	医療機関を代表する者	第6号
12	阿利 泰子	千葉県立八千代特別支援学校	教育機関を代表する者	第7号
13	小竹 祐二	身体障害者福祉会	障害者団体を代表する者	第9号

		きらめき支援センター		
14	石田 和美	八千代精神障害者家族会 かたくり会	障害者団体を代表する者	第9号
15	大庭 久美	八千代市手をつなぐ親の会	障害者団体を代表する者	第9号
16	楠 ゆかり	船橋人権擁護委員協議会	権利擁護関係団体を代表する者	第10号